

7 教材づくり

折り紙

(1) かぶと(帽子)

用意するもの

新聞紙 または 50～60cm四方の正方形の紙1枚

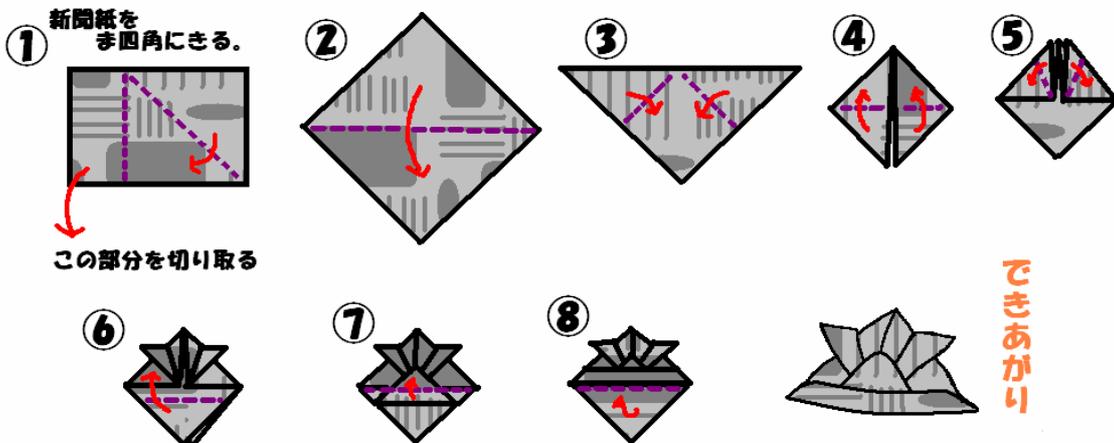
作り方 (図1 - ~)

1. 新聞紙を折って余分な所を切り取り、正方形を作る。()
2. 正方形を半分に折って三角にする。()
3. 三角の両端を内側に折って小さい正方形を作る。()
4. 折り返した紙の両端を上に折り上げる。()
5. 折り上げた紙の両端を外側へ折る。()
6. 正方形の下の手前1枚を点線の所で折り上げる。()
7. もう一回点線の所で折り上げる。()
8. 正方形の下に残った部分を点線の所で裏へ折り返す。()

遊び方

頭にかぶって遊びましょう。

図1



(2) 帽子

用意するもの

新聞紙 または 50～60cm四方の正方形の紙1枚

(正方形の紙の作り方は図1 -)

作り方 (図2 - ~)

1. 新聞紙を折って正方形をつくり、半分に折る。()
2. もう一回半分に折り、折り目をつけて元に戻す。()
3. 真ん中の折り線に両端をあわせる。()
4. ふくろを外側に開く。()
5. 巻き上げるように点線で3回端から折る。()
6. 裏返して、点線のところで内側に折る。()
7. 巻き上げるように点線で3回折る。()
8. Aの部分を押しつぶし、Bの部分をふくらませる。()

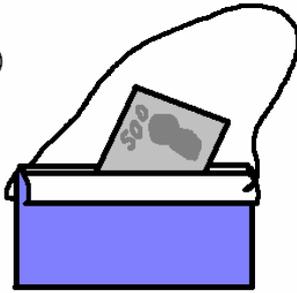
遊び方

1. 図2 - まで作ってひもをつけてバックや、お財布にして遊びましょう。
(図2 -)
2. 頭にかぶって、レストランのシェフさんやウエイター、ウエイトレスの帽子にして遊びましょう。(図2 -)

図2

ひもをつける

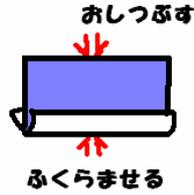
⑨



できあがり

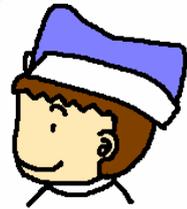
じょうげをおきかえる

⑧



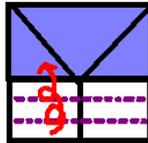
ふくらませる

⑩



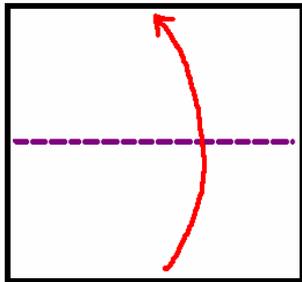
できあがり

⑦



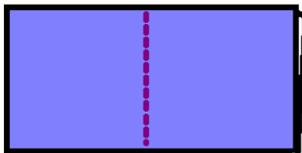
まきあげるように おる

①



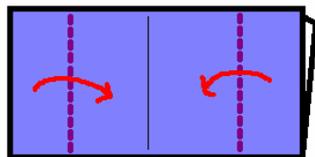
はんぶんにおる

②



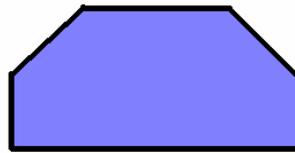
はんぶんにおり もとにもどす

③



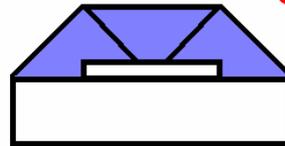
おりめで おりあわせる

⑥



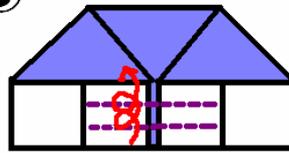
ちゅうしんせんで おりあわせる

うらがえす



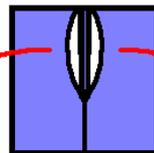
おれたところ

⑤



まきあげるようにおる

④



ふくろをひらく

おきかえる

(3) 飛行機(2種)

用意するもの

新聞紙 1/2 枚 または 長方形の紙 (54×40 cm) 1 枚

作り方 (図3A - ~、図3B - ~)

図3A

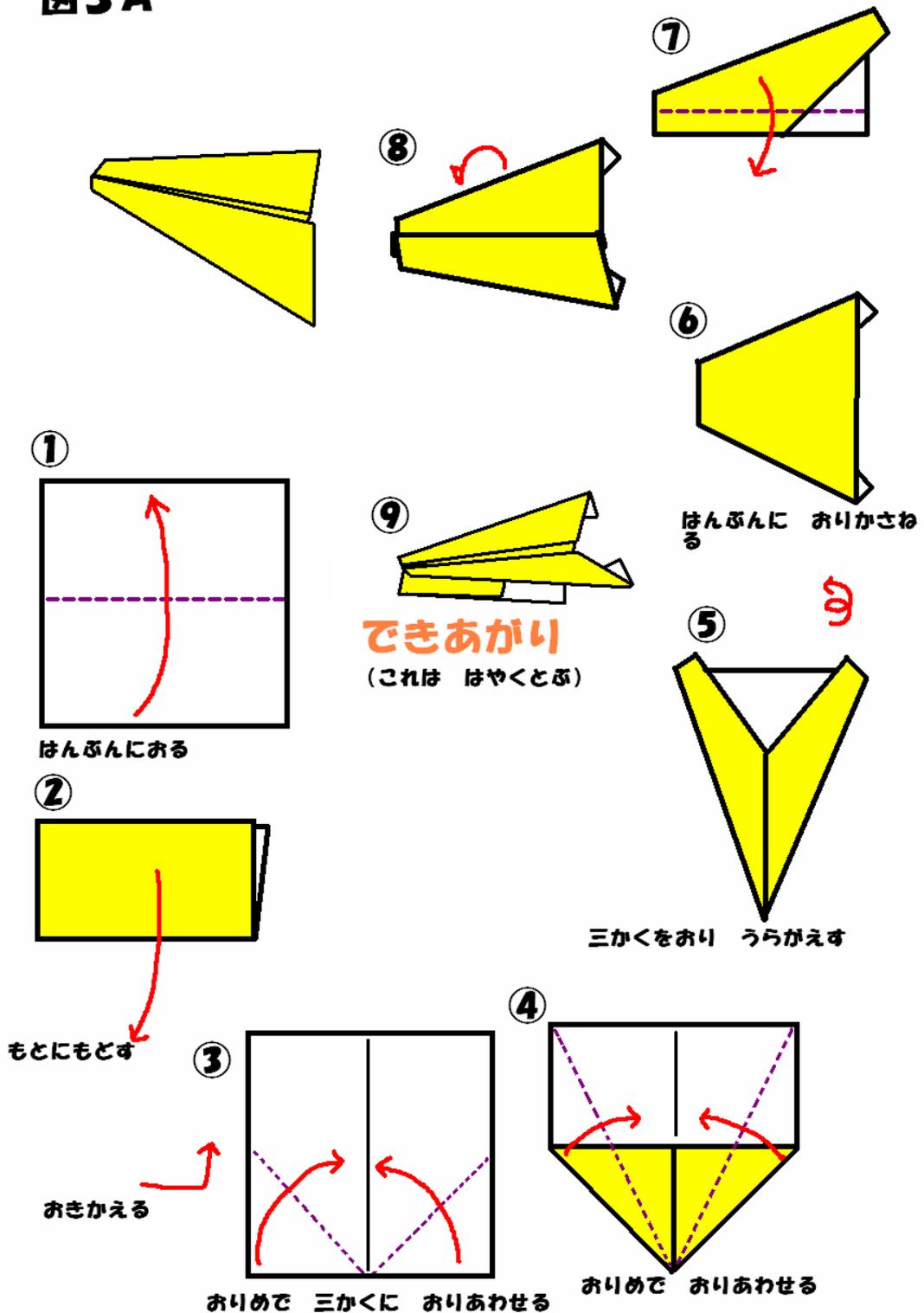
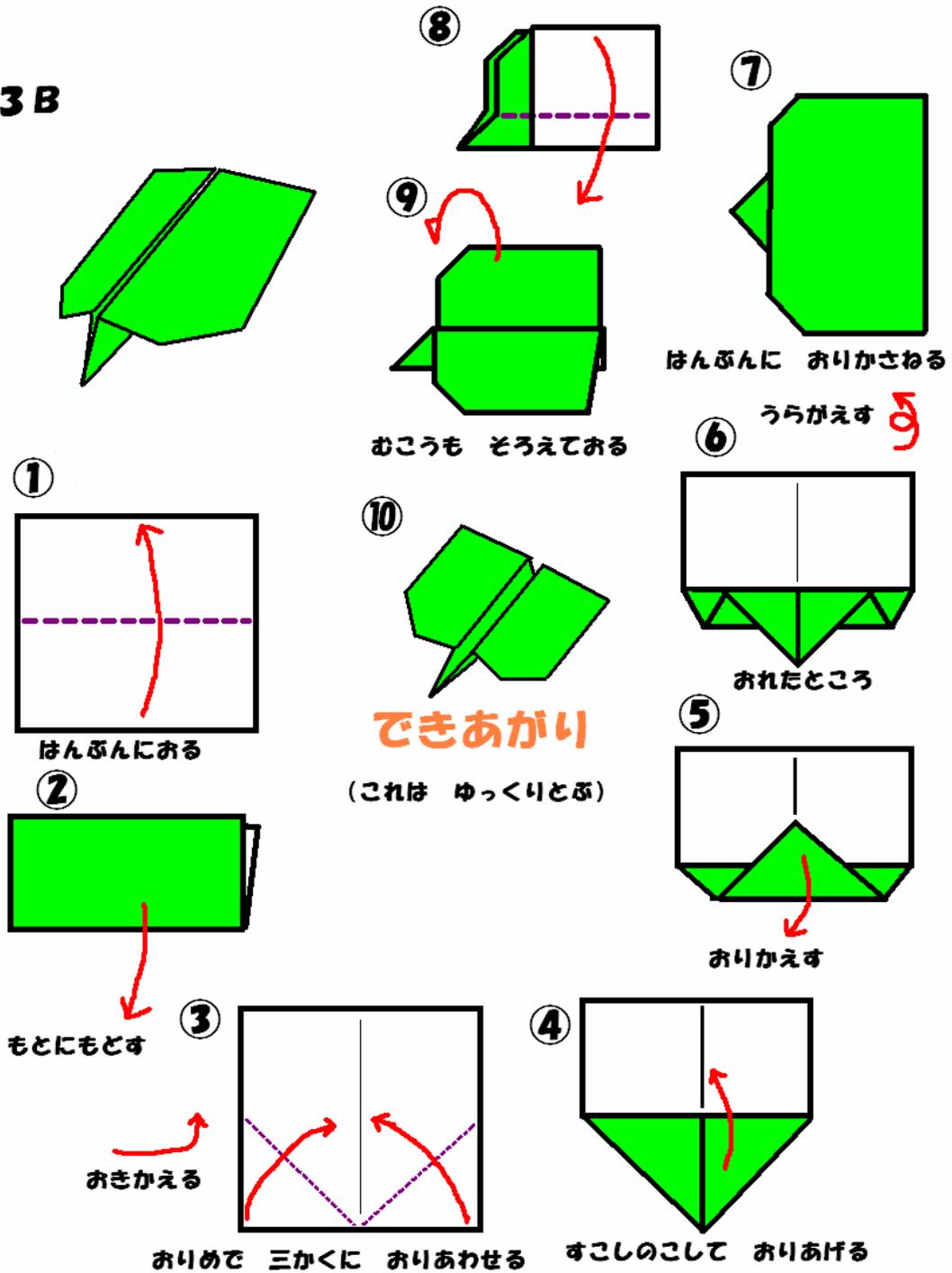


図3B



遊び方

1. 野外のいろいろな所（高い所、低い所）から飛ばしてみましょう。
2. 遠くまで長維持間飛ぶ飛行機をつくるにはどうしたらよいか、またどのような所から、どのようにして飛ばすのがもっとも遠くまで長時間時間飛ぶか等、工夫し、考えましょう。
3. 飛行機が飛ぶためには重心の位置が重要であること、そのために、紙ひこうきの前の方を紙が重なるように折ることが大事であることを知りましょう。

(4) 紙鉄砲

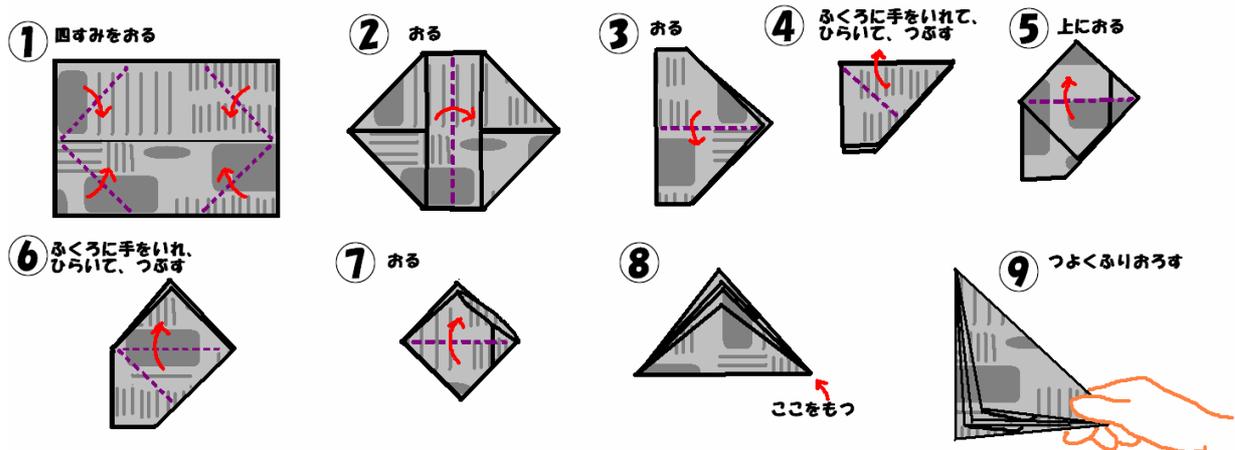
用意するもの

新聞紙 または 長方形の紙 1 枚 (少し硬めの紙がよい)。

作り方 (図4 - ~)

1. 四隅を矢印のように内側に折る。()
2. 点線のように折り目をつけ、矢印のとおり二つに折る。()
3. もう一度二つに折る。()
4. 袋になった部分に手を入れて、開いてつぶす。()
5. 上に折る。()
6. 袋になった部分に手を入れ、開いてつぶす。()
7. 上に折る。()

図4



遊び方

1. 図4 - の部分を持って図4 - のように下方向にいきおいよく振り下ろす。(パンと鉄砲のような音がします。)
2. 友達同士で、互いに自分の作った紙鉄砲を振り下ろし、音の大きさを競ったりして遊ぶ。

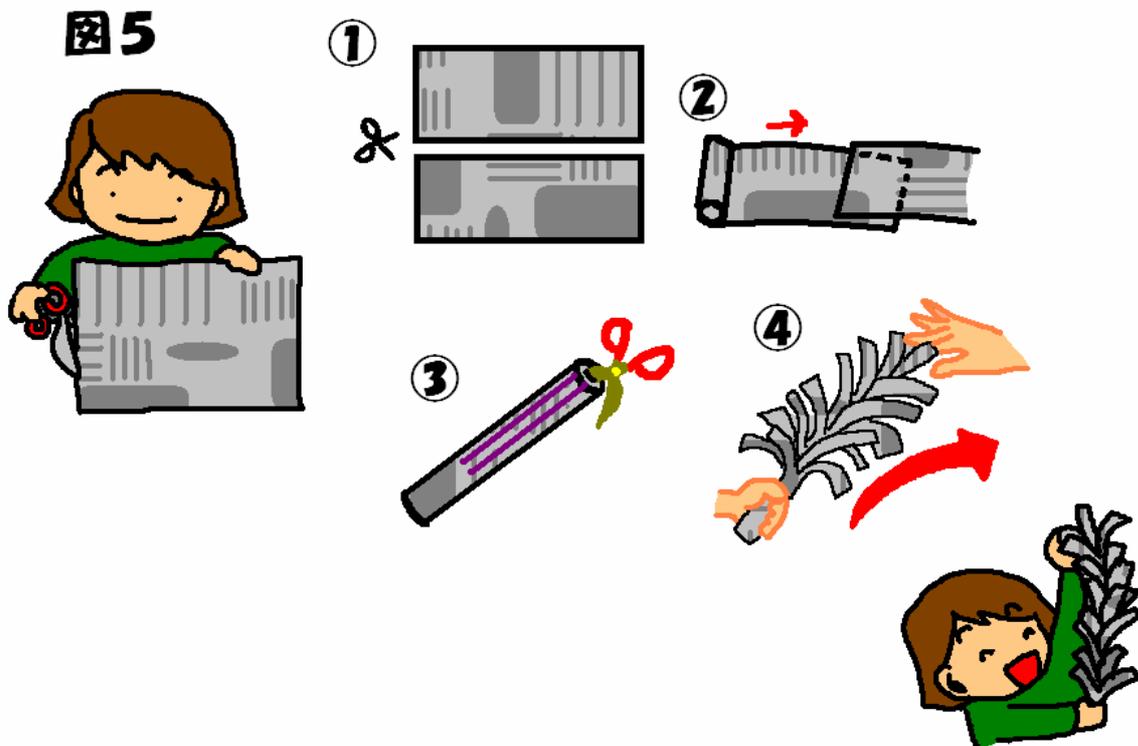
(5) 新聞紙の花

用意するもの

新聞紙または長方形の紙 1 枚

作り方 (図5 - ~)

1. 新聞紙 (または長方形の紙) を半分に切ります。()
2. 端からしっかりと巻いて筒を作ります。巻き始めた 1 枚目が残り少なくなったら、のこりの半分にした新聞紙を重ねてつなげ、巻き続けます()
3. 筒の端にはさみで縦に切り込みを入れます。切り込みは 1.5 c m くらいの間隔で筒の 2/3 くらいまで入れます。
4. 切り込みの部分に、人差し指を入れて、一番中心にある紙を人差し指と親指でつまんで引き出します。



遊び方

1. お生日会するときなど保育者がマジックとして演じましょう。
例：新聞紙を子どもに見せて「これはなんでしょう」「そう新聞紙ですね」「新聞紙は読むものですが、きょうはこれで木をつくります。では、見ていてください」と言って、作りはじめます。
2. 手品の音楽をかけながら、紙でつくった手品師のぼうしやチョッキを着るなどの演出をしてもよいでしょう。
3. 興味を持った子どもには作り方を教え、マジックごっこをしましょう。

(6) 手のひら絵本

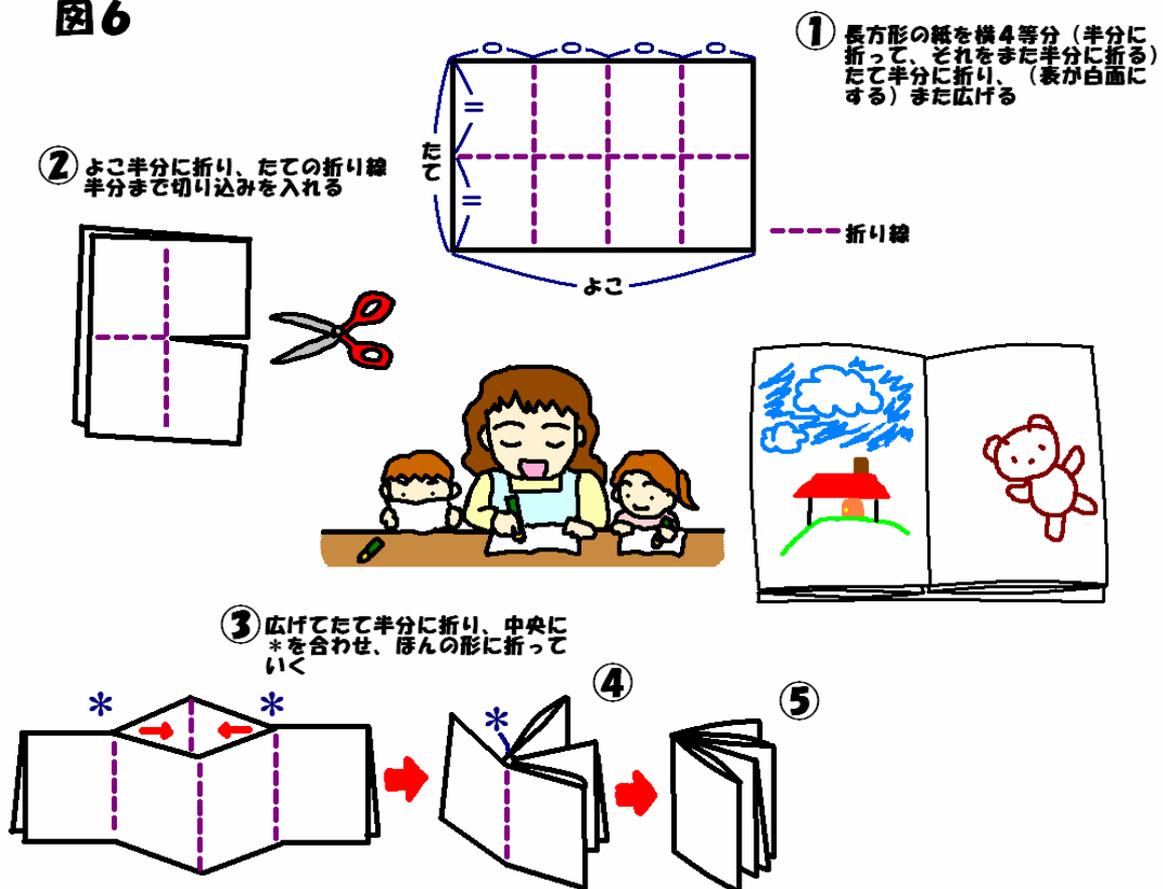
用意するもの

B4サイズ または 40×30cmくらいの紙 1枚

作り方(図6 - ~)

1. 紙を8つに折って折り目をつけてから広げる。()
2. 半分に折り、切込みを入れる。()
3. 広げて*と*をくっつける。(、)
4. 折りたたむ。()

図6



遊び方

1. それぞれのページに好きな絵を描いて遊ぶ。
2. 表紙に題名、絵、作者名を書いて、「私の本」を作る。

ペーパークラフト

(1) お話あそび

材料

紙（軽くて少し硬めの紙が良い）、竹や木の棒（箸）、はさみ、のり、クレヨンなど

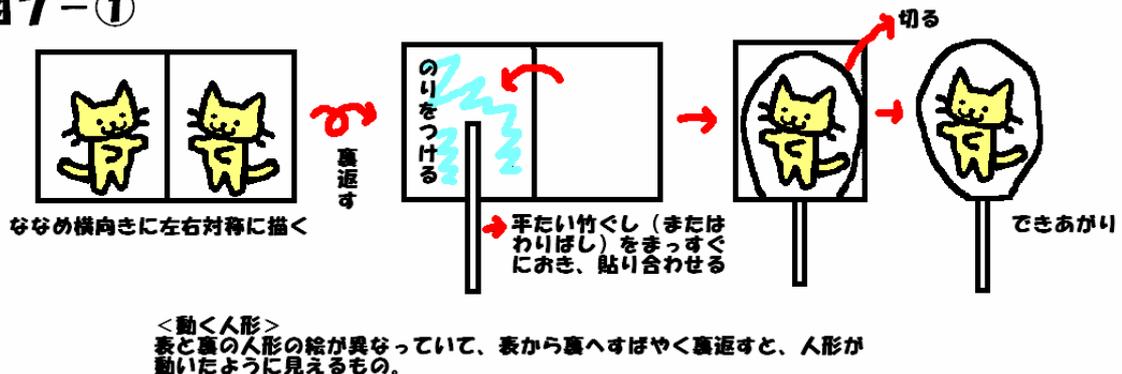
作り方（図7-1、図7-2）

1. 紙に人形の絵を描き、紙人形の周りを残して切り取る。輪郭どおりに切り抜かないこと。
2. 表か裏のどちらか一方にのりをつけ、真ん中に竹か木の棒（箸）をのせ、その上にもう一方の絵をのせて貼り合わせる。

<基本になる人形>

表と裏の人形の絵がまったく同じで、人形の向きが正反対になっているもの（右向きの人形と左向きの人形）。人形は斜め横向きに描く。

図7-①



<動く人形>

表と裏の人形の絵が異なっていて、表から裏へすばやく裏返すと、人形が動いたように見えるもの。

図7-②



遊び方

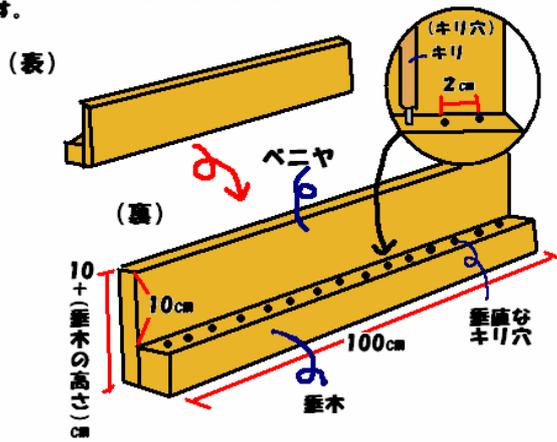
1. 単純でくり返しのあるお話や幼児の親しみやすいお話を選んで演じます。紙に描いた人形の表裏をすばやくひっくり返すことで、人形の向きが変わったり、動いて見えたりするので、子どもたちの興味を引きつけることができます。紙人形を動かしすぎると良くないので気をつけましょう。
2. はじめは保育者が作って演じて見せます。興味をもってやってみたいという子ができたら、保育者が作ったペープサートを使って遊んでも良いし、子どもが自分たちで作って遊ぶのも良いでしょう。
3. 舞台なしで演じられますが、舞台を作って演じてみましょう。

(図 7 - 、 図 7 -)

図 7 - ③

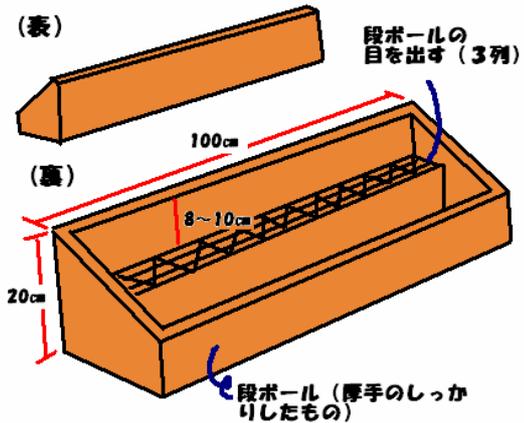
★一人使い用舞台

・ベニヤと垂木で作ると、しっかりとしたところでも演じられる舞台になります。



・テーブルの上に、一人使い用の舞台を置きます。

・段ボールで作ると、子どもでも使えて自由に遊べます。



・演じる人の顔や体が見えても、さしつかえありません。

図7-4

★グループ用舞台

物干しざおを利用して作ります。子ども、大人によって高さを調節しましょう。



(2) 歌遊び

ペープサートを使って『数字のうた』を歌います。

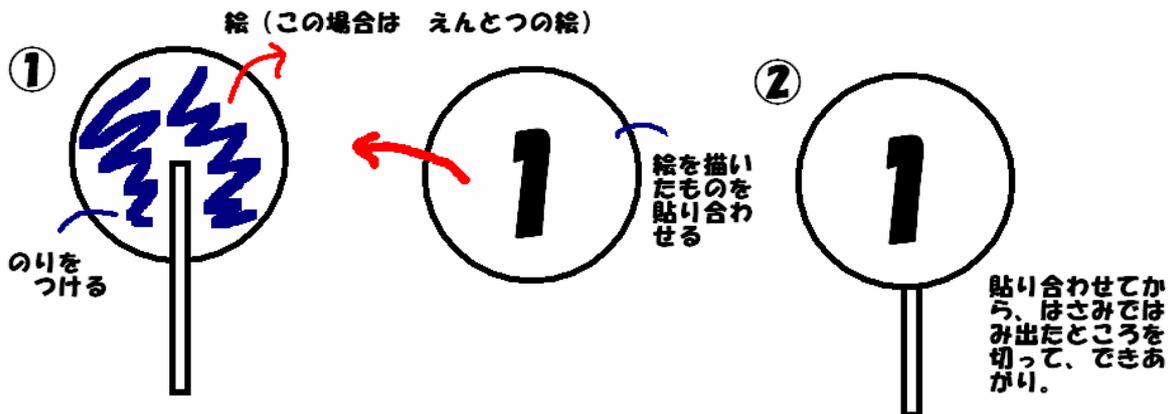
用意するもの

白い画用紙、木の棒(箸)、のり、はさみ、クレヨン・色鉛筆など

作り方(図8 - 、)

1. 丸く切った白い紙(直径18cm)に黄色い蝶、赤いとんぼなどを描く。
2. 1と同じ形・大きさに紙を切り、黄色い蝶、赤いとんぼなどと同じ色に塗る。
3. 裏にのりをつけ、真ん中に木の棒を置き、2の画用紙(黄色い蝶の と黄色い色画用紙)を貼り合わせる。()
4. 貼り合わせてはみ出た所をはさみで切る。()

図8



演じ方

1. 一面に色を塗った方(絵の描いてない方)を子どもに見せて片手で持ちます。
2. 数字の1はなあに? と歌いながら、ペープサートを左右に揺らし、いったん止めて「何かなー」と言いながら両手でぐるぐる回します。
3. 子どもから「 」と答えが返ってきたら、こうばのえんと一つ と歌いながら、ぐるっと絵をひっくり返してえんとつの絵を見せましょう。

応用

<数字から連想されるものクイズ>

1. 数字からイメージされるものを子どもと一緒に考えて数字の裏に絵を描いて歌います。
2. 「さっきの1はえんとつだったけれど今度は何かな」と興味を持たせながら歌いましょう。

<色から連想されるものクイズ>

1. 表に黄色、赤、緑などの色のふうせんをひとつずつ描き、裏に黄色いちょう、赤いトマト、緑のはっぱなどの絵を描きます。
2. 数字の歌の替え歌で きいろいふうせんなあにー？ と歌います。
3. 「きいろいふうせんはなにかなー？」と聞き、 きいろいちょうちょ と歌って絵をひっくり返し、ちょうの絵を見せます。

<シルエットクイズ>

1. 表に丸や三角などの黒いシルエットを描き、裏にボール、山などを描きます。
2. クイズ形式で子どもに まあるいかたちはなあにー と歌い、「なにかなー？」と言いながら、絵をひっくりかえし、 サッカーのボール と歌います。
3. 同じ丸のシルエットでもボールでなく月にしたりして「さっきはボールだったけれど今度はなにかなー」と興味を持たせながら歌いましょう。
4. シルエットの裏を食べられるもの、食べられないものにして、クイズ形式で食べられるものか食べられないものか子どもに聞いていってもいいでしょう。



縄とびの縄

用意するもの

不要になった布を細く切ってひも状にしたものを3本
(幅10cmくらい×子どもの身長プラス30cmの長さ)

作り方

1. 地面に足をなげ出して座り、3本の布ひもの片端をひと束にして硬く結び、結び目を足の親指と第2指の間に挟みます。
2. 足の指に挟んだ布ひもを手前に強く引っ張りながら、三つ編みにしていきます。

遊び方

1. 縄跳び遊びをします。
2. 走りながら跳ぶなど、いろいろな跳びかたに挑戦しましょう。



野 外 の 遊 び

(1) 草 の 葉 の 笛

用意するもの

毒性のない小判型の葉、麦や芦など空洞のある茎。

作り方と遊び方（図9 - 、図9 - ）

小判型の葉は丸めて、茎を使うものは、その空洞を生かして作ります。

図9-①

・木の葉のまきぶえ
ツバキ、ネズミモチ、
マサキ、サンゴジュ、
ゲッケイジュ、カシ
などの若い葉。

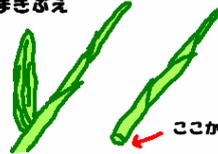


葉をまき、
ふき口のほうを
指でつぶしてふく。



図9-②

・ササやアシの葉のまきぶえ
さきのくるとまいて
のびているところを、
ひきぬいて、いちどひ
らき、かるくまきもど
して、根もとのほうか
らふく。



ここからふく。



(2) 葉っぱの舟

用意するもの

笹または竹の葉1枚

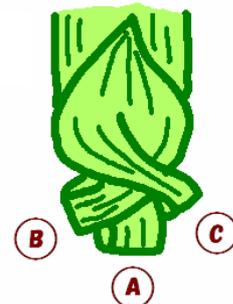
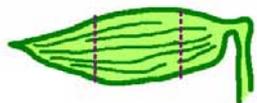
作り方（図10 - ~ ）

1. 葉の点線のところを2ヶ所折る。パリッと折らずに少し丸みをつけて折ります。（ ）
2. 葉脈に平行に3等分になるよう2本切れ目を入れます。（ ）
3. Aを残し、BをCの穴にくぐらせて指で上から押さえます。もう一方の端も同様に行います。（ ）

遊び方

水溜り、池に浮かべたり、川に流して遊びます。

図10



(3) 竹ぼっくり・カンぼっくり

用意するもの

直径8cm高さ5cmくらいの竹またはあきカン2個、150cmくらいのひも2本、竹やカンを切る道具(のこぎり、カン切り)、ひもを通す穴を開ける道具(キリ、釘、かなづち)

作り方(図11 - ~)

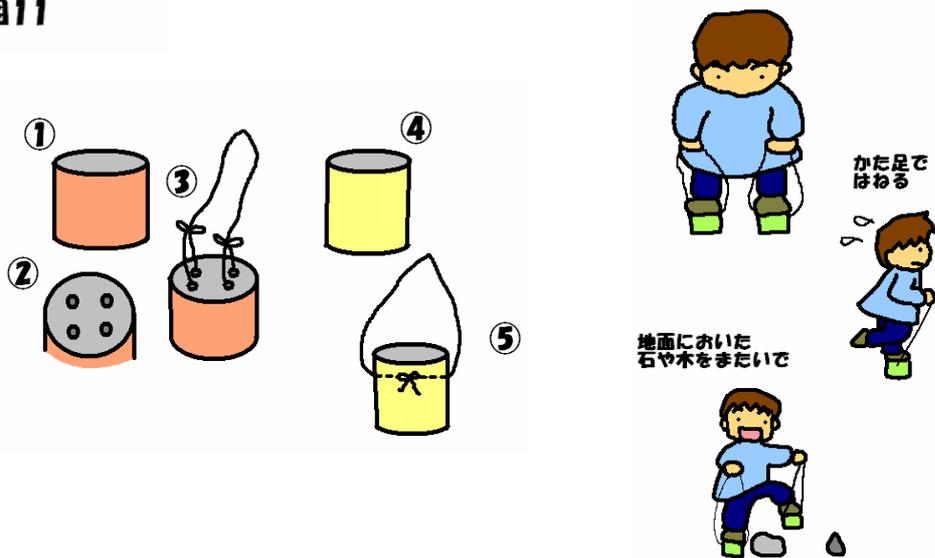
<竹ぼっくり>

1. のこぎりで竹のふしのすぐ上を、ふしのすぐ下10cmくらいのところを切ります。()
2. キリで竹の上の平らな面に4か所穴を開けます。()
3. 穴にひもを通して結びます。()
4. ひもの長さを、子どもがやりやすいように調節します。

<カンぼっくり>

1. カン切りでカンのふたの開いているほうをきれいに切り取ります。カンの切り口はかなづちでたたいてなめらかにします。()
2. 釘とかなづちでカンの横面に左右対称に2か所(または4か所)に穴を開け、ひもを通してしっかりこぶ結びします。()
3. ひもの長さを子どもがやりやすいように調節します。

図11



遊び方

1. ひもをしっかり持って前、うしろ、横に歩いたり、石や木などの障害物を越したり、山を上り下りします。
2. かけっこや片足ケンケン、地面に「島」にみたてた円を書いて島から島へ渡って歩きましょう。



じゃんけんとは？

ゲームの鬼を決めるとき、おやつを取る順番決め、やりたい人がたくさんいるとき等、様々な場面で、物事を決める手段や遊びとして「じゃんけん(グー・チョキ・パー)」が使われています。

手を握ったのが「石(グー)」、人差し指と中指の2本を出したのが「はさみ(チョキ)」、開いたのが「紙(パー)」、です。

(1) グーの勝ち



グー > チョキ

(2) チョキの勝ち



チョキ > パー

(3) パーの勝ち



パー > グー

誰が勝つかわからないこと、子どもが大人にも容易に勝てる偶然性もおもしろいところです。「グー・チョキ・パー」という3つの関係が分かって自由に操作するには、4才くらいにならないと難しいですが、友達と遊ぶ中で自然に体得していきます。



世界では？

韓国・中国・シンガポール・インドネシア・カンボジア・マレーシア・ベトナム・ミャンマー・ラオス・ドイツ・アメリカ・フランスなど多くの国でも、手で形を表す、じゃんけんと似た遊びがあります。例えば韓国では「はさみ・石・布」、インドやインドネシアのバリ島では「象・人間・蟻」、さらには中国の広東省では「神様・鶏・鉄砲・狐・シロアリ」で行われます。また、英語圏でも「rock-scissors-paper」がありますが、日本ほど一般的ではないようです。



